

復興応援 講演会

三浦綾子の世界

『続・泥流地帯』

苦難の中でこそ

人生は豊かなのです

大正十五年、十勝岳の大噴火による泥流の惨害懸命に生きる人たちの姿を通して
人生の試練の意味を
問いかける感動の長編

2019年8月30日(金)午後2~4時

会場・主催：仙台めぐみ教会

仙台市泉区向陽台 4-22-10 (交番近く)

☎ 022-218-5510 宣教師 魚本マレー

無料 どなた様も
どうぞお気軽に
お越し下さい



講師：森下辰衛氏 三浦綾子読書会代表

1962年岡山県生れ。元福岡女学院大学助教授。'07年旭川に転居し三浦綾子文学館特別研究員として研究に専念。三浦綾子読書会代表として広く活動し、全国各地に精力的に、楽しく、深く、わかりやすく講演を行っている。

著書：『氷点』解凍 監修：『三浦綾子366のことば』他

三浦綾子 1922-99年 旭川生れ。13年間の結核の闘病中に洗礼を受ける。代表作「氷点」は映画化され、数度にわたりラジオや

テレビドラマ化された。「塩狩峠」は昨年も「新潮文庫の100冊」に選ばれた。「道ありき」「銃口」「旧約聖書入門」「新約聖書入門」等々

多くの名作を遺した作家である。共催：三浦綾子読書会
(三浦文学を学び合う楽しい集まり。国内外130カ所以上で開催)

